

鹿児島市内の石刻資料人名索引

土肥克己・木戸裕子・望月正道・建石始

筆者たちグループは鹿児島県内の石刻資料を活用した郷土史研究を志向し、実地調査と資料の整理を並行して進めている。すでに公表した「鹿児島市内の石刻資料目録・年代索引」（『鹿児島県立短期大学地域研究所研究年報』第40号、2009）に続き、今年度は鹿児島市内の石刻資料360点あまりに対して人名索引を作成した。前稿同様、次の4種の石刻資料集に著録された鹿児島市内の石刻資料を対象にして、そこから人名を抽出した。

「鹿児島の金石文」 『鹿児島市史』Ⅲ（鹿児島市史編さん委員会編、1971）所収

『鹿児島市内金石碑文集』Ⅰ 鹿児島市小学校社会科部会編、1956

『鹿児島市漢文碑選』 渡辺正、黙遙社、1988

『鹿児島県碑文集』第一篇 鹿児島県第一師範学校編、1932

実地調査によって現物を確かめ、校訂を加えたうえで整理したのも前稿と同様である。各石刻資料の実地調査状況については前稿で確認できるようになっている。

4種石刻資料集は鹿児島市内の石刻資料のすべてを網羅しているわけではない。著録されてはいても碑陰の芳名録（石碑設置関係者や賛助者のリスト）が省略されることも多い。石碑等の石刻資料は複数の人が何かを守ろうとして設置するものであるから、碑文中に記された歴史上の人物だけでなく、設置に関わった人々もまた歴史的な役割を担っている。ここに抽出された約1800の人名は現存する石刻資料からすれば一部分かもしれないが、そのような関係者の名前も確かに含まれている。この人名索引が地域住民の行為を歴史の一部に組み込む作業の手がかりになることを期待している。

凡 例

1. 本人名索引は、4 種の石刻資料集に著録された鹿児島市内の石刻資料から人名を抽出したものである。
2. 人名はまず姓氏の五十音順に並べ、次に同じ姓氏のものは名の五十音順で並べた。姓氏は一般的な読みで並べたが、名については基本的に漢字の音読みで並べてある。例えば西郷隆盛は「サイゴウリュウセイ」で検索する。ただし「畛」字はすべて「けさ」と読んだ。

音読みがなじまない和風の通称は、次のパターンの場合だけ訓読みを採用した。

〇〇衛門 〇兵衛 〇〇郎 〇〇助 〇〇介 〇之進 〇之丞 〇子

例えば西郷吉之助は「サイゴウキチノスケ」で検索する。

名の配列については、1 文字目の漢字の音読みまたは訓読みでまず並べ、1 文字目の漢字が同じときは2 文字目の漢字の読みで並べた。

和風の通称があるだけで姓氏が不明のもの、あるいは僧侶のように人名を音読みすべきもの等については、適当と思われる位置に配置した。

3. 人名はすべて新字体を使用する。姓氏において「嶋」「菌」の2 種の漢字は、それぞれ「島」「園」と区別なく配列した。
4. 人名のあとの丸カッコは異名、角カッコは人物に関する注記を表わす。人物の注記は資料に直接関係のある事項と親族関係にとどめた。異名・注記のなかの小文字は、4 種石刻資料集の文言に誤りがあることを表わしている。小文字が誤りのある文言で、最小限の校勘を施した結果をその左側に通常の大きさの文字で示した。
5. 4 種石刻資料集の当該ページをそれぞれ次のような記号を用いて明記した。

無印：鹿児島市の金石文

B：鹿児島市内金石碑文集

C：鹿児島市漢文碑選

D：鹿児島県碑文集

ひとつの資料が複数の資料集に含まれるときは、この順序を優先順として1 種だけ記載した。各資料集の石刻資料著録状況については前稿の目録を参照のこと。

B～Dについてはページとともに資料番号も明記した。例えば、C24-132は『鹿児島市漢文碑選』の24 ページ、資料番号132の「愛甲喜春先生碑」に検索対象の人名が含まれていることを表わす。資料番号については前稿の目録を参照のこと。

6. 同一ページに同一人名が複数存在するときや、4 種石刻資料集に誤りがあるときは適宜注を加えた。例えば「839（中村通）(2)」は、当該ページにおいて中村連が「中村通」と誤った形で2 か所見つけられる。
7. 人物を特定できなかったものは巻末にまとめて配置した。

鹿児島市の金石文（鹿児島市史Ⅲ）

鹿児島市漢文碑選

鹿児島市内金石碑文集

鹿児島県碑文集

人 名 索 引

ア

愛甲季寛〔愛甲季経次男〕 C24-132 (3)
 愛甲季経〔愛甲喜春長男〕 C24-132
 愛甲季堅〔愛甲季経長男〕 C24-132,
 C24-132 (李堅。石碑原文も同じ)
 愛甲季東〔愛甲季経三男〕 C24-132
 愛甲季里〔愛甲季堅子〕 C24-132
 愛甲季隆 (三郎)〔愛甲喜春先祖〕 C24-132
 愛甲喜春 (季定, 平左衛門)〔儒者, 医家〕
 C24-132
 愛甲兼達〔十五銀行常務取締役〕 821,
 C24-132
 愛甲氏〔森元貞興室, 森元貞謙母〕 820,
 821, 821 (祖妣)
 愛甲次右衛門 833
 愛甲織部〔愛甲喜春祖父〕 C24-132
 愛甲新兵衛〔愛甲喜春父〕 C24-132
 愛甲弥三郎〔愛甲喜春先祖〕 C24-132
 青木宇八郎〔巡查〕 780
 赤井友家〔赤井利長先祖〕 822
 赤井利長 (金右衛門)〔砲術家〕 822 (2)
 赤崎海門 (偵幹)〔造士館教授〕 788 (赤崎禎
 幹。石碑原文も同じ), 788
 赤塚源六 (太郎, 真成)〔海軍大佐〕 826
 赤塚真矩〔赤塚真成父, 鋳物所〕 826
 赤松清藏〔警防員〕 779
 秋山春利 771
 朝野貞利〔警部補〕 780
 足利氏〔室町将軍家〕 759
 安食義照 818
 芦谷市助 → 円了無参
 芦谷時好 (六郎)〔御普請方掛地方検者定数
 助〕 833
 阿善 → オヨシ
 阿多助左衛門 792 (阿田惣左衛門)

阿多勇之進 792
 足立盛至〔西南戦争時薩軍, 医師〕 818
 足立法鼓〔東本願寺権大講義, 鹿児島布教主
 任〕 789
 厚岩吉〔住用村警防団班長〕 779
 渥美契縁〔東本願寺執事〕 789 (5)
 渥美契誠〔渥美契縁弟, 東本願寺権大講義〕
 789 (3)
 精松伝右衛門〔私学校生存者〕 839
 天野満一〔川内市警防団警防員〕 779
 鮎川政見〔警察主事〕 780
 荒木貞夫〔第六師団長〕 839
 有川勘助〔桑原組設立者〕 792 (有川尚助)
 有川喜左衛門〔横目〕 845
 有川清一〔巡查部長〕 780
 有川仲藏〔庄屋〕 846
 有川貞隆〔水野流居合〕 817
 有川篤友 850
 有川友右衛門 838
 有川与平太 838
 有馬熊次郎〔船手書役〕 853
 有馬氏〔後醍醐院真柱室〕 828
 有馬純精 849
 有馬新一〔海軍中将〕 817
 有馬新七 (正義)〔造士館訓導, 寺田屋事件で
 誅殺〕 855 (2)
 有馬猛〔田上村長〕 808
 有馬誉純〔丸岡藩主〕 764
 有村喜次郎〔常磐町貯蓄会員〕 797
 有村国太郎〔有村兼善子〕 821 (2)
 有村敏吉〔寺山水道設計監督委員〕 839
 有村兼高〔森元貂次女の夫〕 822
 有村兼善〔海江田信義・有村雄助・有村次左衛
 門父〕 821
 有村七太郎〔工事監督〕 755
 有村伝太郎 799
 有村邦彦 804

有吉正直〔警部補〕 780
 安藤歳市〔警防員〕 779
 安楽清人〔部長〕 779

イ

飯牟礼俊良（八郎）〔嘉永年間，御普請方掛郡
 方書役〕 834
 飯牟礼俊良〔明治時代，後醍醐院真柱従弟〕
 828
 家村源左衛門〔薩摩義士〕 775
 家村長助〔薩摩義士〕 775
 猪飼尚敏（央）〔家老〕 832
 伊加倉俊貞（源四郎）〔奉行〕 772
 池上四郎（貞固）〔西南戦争時薩軍〕 784
 池田氏（てい子）〔湯地定監母〕 791
 池田氏立 832
 池田次郎右衛門〔年寄〕 761
 池田正右衛門（孝行正右衛門）〔孝子〕 770
 （3）
 池田平左衛門〔船手書役〕 853
 池田安太郎 833
 池之上町世話人 767
 池原雲伯〔医家〕 820
 生駒広高 849
 石神田丸〔巡查〕 780
 石川光竜（確太郎）〔洋学者，蒸気船製造関係
 者〕 836, 853 (2), 854
 石黒忠恵〔陸軍省医務局長，貴族院議員〕
 804
 伊地知季安（子静，潜隠，小十郎，伊勢氏）
 〔記録奉行〕 769, 809
 伊地知季永 815
 伊地知季永母 815
 伊地知季寿（愛四郎）〔戊辰戦争時四番遊撃隊
 分隊長〕 825
 伊地知季昌（直左衛門）〔伊地知季寿父〕 825
 伊地知季直 → 伊地知季通
 伊地知季通（季直）〔伊地知季安次男〕 769
 （2），845
 伊地知季敦〔伊地知季安四男〕 769
 伊地知季伴（小十郎）〔伊勢貞休次男（伊地知季
 安）を継嗣に迎える〕 769
 伊地知季隆 793
 伊地知休右衛門〔船手下目付〕 853

伊地知金次郎 815
 伊地知弘一〔海軍大佐〕 792
 伊地知氏（媼）〔伊地知季伴女，伊地知季安
 室〕 769（其女）
 伊地知氏（婦喜）〔伊地知季安長女，本田親賢
 室〕 769
 伊地知四郎〔海軍少将，鹿児島市長〕 836,
 840
 伊地知四郎兵衛 838
 伊地知重貞（左衛門尉）〔戦国時代，島津氏家
 臣〕 809
 伊地知重礼 849
 伊地知新蔵 837
 伊地知新之丞〔牧司〕 846
 伊地知正治〔宮中顧問官〕 796, 823, 827
 伊地知千右衛門 838
 伊地知伝左衛門〔郡見廻（郷見廻）〕 846（野司
 郎。石碑原文は伊司郎），846（伊地知仙左衛
 門）
 伊地知弥兵衛〔伊地知季安三男，黒田氏継嗣〕
 769
 石塚仁助〔薩摩義士〕 775
 石塚清武 772
 石塚勢右衛門 792
 石塚兵蔵 792
 石原氏〔森元館室〕 822
 石間伏岩男〔団員〕 779
 伊集院熙久（初千代丸，初犬千代丸）〔伊集院
 頼久子〕 D44-164
 伊集院久栄（仁右衛門）〔伊集院俊矩父〕 766
 伊集院久治〔戦国時代，島津氏家臣〕
 C24-132
 伊集院久東〔大目付〕 786
 伊集院九郎〔御内用方横目〕 841
 伊集院兼一（平） 832
 伊集院兼尚〔町奉行〕 760
 伊集院兼中（周右衛門） 841
 伊集院兼直（藤九郎）〔小納戸〕 835
 伊集院五郎〔元帥，海軍大将〕 817
 伊集院俊矩（仁左衛門）〔島津宗信御守役〕
 766
 伊集院俊詮（小平太） 832（伊集院小兵太俊
 詮）
 伊集院忠朗（大和守）〔戦国時代，島津氏家
 臣〕 801

- 伊集院篤〔紡績所(商通社)経営者〕 854
 伊集院頼久(弾正)〔室町中期, 伊集院領主〕
 760 (3), D44-164 (5)
 和泉保政 849
 和泉保定 849
 伊勢氏〔伊地知季安母〕 769
 伊勢貞休(八之進)〔伊地知季安父〕 769
 伊勢貞昌〔家老〕 788
 伊勢八之進〔調合方検者〕 846
 伊瀬知好成〔陸軍中将, 貴族院議員〕 803
 (伊瀬地好成), 804, 817
 一翁玄心〔市来竜源寺住持〕 770 (4)
 市来家綱(清十郎)〔泗川新寨戦三勇士〕 767
 市来広貫〔正右衛門〕〔砲術方掛, 製造係〕
 835, 853
 市来氏〔岩下道英母〕 823
 市来氏〔木村探元母〕 815
 市来政正〔造士館教授〕 822
 市来政清 850
 市来政誠(太郎左衛門) 841
 市来清喬 849
 市来清重 850
 市来清忠 849
 市来清武 849
 市来平右衛門〔製作掛〕 846
 一条天皇 790
 市田義宣(美作)〔家老〕 832(市田美作義宣)
 市成栄吉〔寺山水道設計監督委員〕 839 (2)
 市兵衛〔吉野村在役〕 846
 市村慶三〔鹿児島県知事〕 779
 出石宗高 849
 出石宗国 849
 井出上渡右衛門〔薩摩義士〕 775
 伊東新左衛門 833
 伊東蒙古〔海軍大佐〕 792
 伊東祐賢 792
 伊東祐亨〔海軍中将〕 791, D20-142
 伊東祐昌(源次仁右衛門)〔木脇祐光孫, 伊東祐辰子, 御使役〕 808
 伊東祐辰(三左衛門)〔木脇祐光長男, ?-1642, 島津氏家臣〕 808
 伊東祐成 771
 伊東祐武 792
 伊藤市左衛門 838
 伊藤泰人〔私学校生存者〕 839
 稲津安国 849
 稲富市兵衛〔薩摩義士〕 775
 稲盛岐次郎 805
 井上休助 832
 井上休兵衛 832
 井上次兵衛〔蒸気船製造関係者〕 853
 井上庄太郎〔反射炉建設, 蒸気船製造関係者〕
 836, 853 (3)
 井上口助 832
 猪俣小之助〔御内用方係役人〕 841
 指宿永健(五左衛門)〔戊辰戦争従軍〕 826
 指宿永制(仲右衛門) 826
 指宿永良(貞右衛門) 841
 指宿貞篤 849
 伊兵衛〔権八子〕 D47-108
 今井与三左衛門 833(今井与五左衛門)
 今給黎久清〔西南戦争時薩軍監軍〕 805 (2)
 今藤惟宏(悔堂)〔造士館助教〕 766, 823,
 C8-131
 今藤宏(新左衛門)〔中属〕 848 (3),
 C32-133 (2)
 今藤助左衛門〔鹿児島高等学校造士館教授〕
 774
 今村助右衛門 838(中森助右衛門)
 今村長太郎〔中別府町〕 838
 今村明恒〔理学博士〕 817
 今村百助〔中別府町〕 838
 入江祐喜 793
 入江祐晟 792
 入江田吉次郎〔常盤町貯蓄会員〕 797
 入佐兼行〔入佐兼友母の父〕 825
 入佐兼善(助八)〔入佐兼友父〕 825
 入佐兼友(助八)〔戊辰戦争従軍〕 825
 入佐氏〔入佐兼行女, 入佐兼友母〕 825(母)
 入田雲庵〔侍医〕 820
 祝田進〔団員〕 779
 岩切信夫〔吉野村温公会代表者〕 D40-157
 岩切仲左衛門〔蒸気船製造関係者〕 853
 岩切与兵衛〔船手下目付〕 853
 岩倉具視〔大納言〕 856
 岩倉友実 849
 岩佐純〔侍医〕 854
 岩崎行親(岳東)〔第七高等学校造士館長〕
 785, 837 (2)

岩崎藤太郎 832
 岩下喜兵衛 833（宮下喜兵衛）
 岩下道英（半之助）〔戊辰戦争従軍〕 823
 岩下道格（典膳）〔岩下亘長男（岩下方平）を継嗣に迎える〕 832
 岩下道光〔岩下道英兄〕 823
 岩下道美〔岩下道英父〕 823
 岩永三五郎〔石工、肥後の人〕 B36-130
 岩村通俊（貫堂）〔鹿児島県令〕 768
 岩元十郎太〔私学校生存者、吉野村温古会代表者〕 839, D40-157
 岩元勝章（間） 832（岩元間勝重）
 岩元庸造〔岩元源助次男、鹿児島紡績所社長〕 795
 岩山氏〔嫡流源氏〕 756

ウ

ウィリス（William Willis）〔鹿児島医学院長、イギリス人〕 783（ウ井ルス。石碑原文はウ井リス）
 植木照彦〔部長〕 779
 上園吉清〔部長〕 779
 上園金十〔中別府町〕 838（上園金十）
 上園長次郎〔中別府町〕 838（上園長次郎）
 上園茂八〔中別府町〕 838（上園茂八）
 上床 → ウワトコ
 上野景範〔在英特命全権公使〕 817
 上之園長右衛門 838（吉川長右衛門）
 上之園弥九郎 838（上園弥九郎）
 上原氏〔染川権輔母〕 787
 上原直則〔吏人〕 848
 上原孫次郎〔蔵方目付〕 846
 上村 → カミムラ
 上山平吉〔西桜島村耕地整理組合組合長〕 D33-156
 宇治野貞固 849
 宇宿行誼（彦右衛門）〔筒持役、製造係〕 835, 853（2）
 内村利夫〔警防員〕 779
 梅北休兵衛 792
 梅北兼武〔西南戦争時薩軍〕 792
 梅園良正（方竹） 801, 821, C24-132
 梅田市蔵〔蒸気船製造関係者〕 853
 上井信雄 849

上床郁太郎 792
 上床国実 850
 上床国瑞 830
 雲祝〔心岳寺五世〕 831（恵祝）
 雲洞〔南泉院第六世〕 814

エ

江川英竜〔勘定吟味役格、砲術家〕 800
 頼川氏〔後醍醐院真柱室〕 828
 奕祇〔清代礼科主政〕 766
 江口義信〔巡査（巡査部長）〕 780
 慧照智融（林氏）〔南泉院第十一世〕 815
 慧姓天真居士十代 815（慧姓大真居士十代）
 江田氏（豊、登代、信証院）〔江田国重女、島津綱貴室〕 799
 江藤信良 849
 榎並金兵衛〔仮脇船頭〕 853
 榎本九八郎〔蔵方目付〕 846
 海老原八郎左衛門〔庄屋〕 757（海老原助左衛門）
 江平幸〔警防員〕 779
 役行者（役小角）〔奈良初期、修験道開祖〕 822
 円了無参（木尾義休、芦谷氏継嗣となり市助と称す、老梅軒）〔福昌寺第六十七世〕 793

オ

王羲之〔東晋書家〕 D44-163（王羲之）
 王守仁（陽明）〔明代儒者〕 793
 応州隆柔〔心岳寺十六世〕 831
 大石兵六 D42-160, D43-161
 大磯徳行 849
 大浦兼武 849
 正親町三条実愛〔議奏、議定〕 855（2）
 大久保直吉 850
 大久保直行 850
 大久保雄吉〔巡査部長〕 780
 大久保利世（子老）〔大久保利通父〕 794
 大久保利通 793（3）、794（2）、801, 855（2）、C35-134（3）
 大久保利貞〔陸軍中将〕 791, 811, 850, D3-136, D32-152
 大久保利武〔大久保利通三男、貴族院議員〕

- 773
 大窪十左衛門〔薩摩義士〕 775
 大窪宗輔〔西桜島村長〕 D33-156 (2)
 大畔平兵衛 806
 大迫英備 D14-140
 大迫尚敏〔陸軍大將〕 786
 大迫貞成(吉左衛門)〔御徒目付〕 847
 大重稽吉 792 (同稽去)
 大重佐七 792
 大田時治〔班長〕 779
 太田喜左衛門〔薩摩義士〕 775
 太田仁八〔薩摩義士〕 775
 太田助四郎〔薩摩義士〕 775
 太田用高(筑左衛門)〔御庭奉行〕 839
 大館晴村 792
 大谷光瑩(現如上人)〔東本願寺二十二世法主〕 789 (2)
 大谷光勝(厳如上人)〔東本願寺二十一世法主〕 789 (宏如上人)
 大谷勝縁〔東本願寺連枝〕 789 (2)
 大谷勝尊〔東本願寺連枝〕 789
 大谷鉄矢〔巡查〕 780
 大寺安純〔陸軍少将〕 817 (大寺定純)
 大友義鎮〔豊後戦国大名〕 D44-163 (2)
 大野久武〔示現流〕 817
 大橋覚右衛門〔薩摩義士〕 775
 大橋七郎右衛門〔薩摩義士〕 775
 大橋与八〔薩摩義士〕 775
 大原重徳〔左衛門督〕 855
 大牟田勝之助〔寺山水道設計監督委員〕 839
 大牟田喜蔵 838
 大牟田半蔵 838
 大牟田平八 838
 大山市兵衛〔薩摩義士〕 775
 大山巖〔元帥, 陸軍大將〕 792
 大山後角右衛門〔郡奉行〕 804 (大山俊角右衛門)
 大山綱曹(彦右衛門)〔寺山掛御内用掛山奉行〕 847
 大山綱良〔鹿児島県令〕 778, 848, C32-133
 大山矢一〔東桜島村書記〕 812 (2), 813
 大山甚八〔薩摩義士〕 775
 大山誠之介〔大山巖弟, 陸軍少尉〕 792
 大山武次郎 792
 岡伍ノ助 832
 小笠原長重〔老中〕 761 (大元帥)
 岡田氏(由羅)〔島津久光母〕 855
 岡田利友(半七) 832 (岡田半七利湊)
 岡田良平〔産業組合中央会頭〕 D10-27
 岡積治右衛門 833
 岡積勇輔〔敬天舎創立者〕 837
 岡元定好〔町奉行〕 760
 沖一誠 → 玉利一誠
 奥元平(大和守)〔刀工〕 790
 奥薩勇〔警察技手〕 780 (奥薩男)
 奥太次郎〔常盤町貯蓄会員〕 797
 奥平昌男〔中津藩主〕 764
 奥間植美〔巡查〕 780
 奥山次郎右衛門 833 (奥山次郎左衛門)
 小倉素彦〔警察技手〕 780
 小倉知常(喜藤太)〔島津斉宣御抱守〕 818
 大河平隆棟〔後醍醐院真柱父, 国学者〕 827
 小田為卿 844 (小田為郷)
 小田景賢 849
 音堅貞淵〔薩摩義士〕 775
 鬼塚喜兵衛〔薩摩義士〕 775
 鬼塚真之助 832
 小野氏〔下伊敷村〕 810
 小野蘭山〔本草学者, 京都の人〕 822
 尾上千兵衛〔薩摩義士〕 775
 小野村武道 849
 小浜常慶(清兵衛)〔画家〕 790
 尾原深〔警視〕 780
 小原八次郎〔警防員〕 779
 小山 → コヤマ
 小山田 → コヤマダ
 阿善〔権八妻〕 D47-108 (阿喜)
 折田兼才〔折田兼至長男〕 C8-131
 折田兼至〔鹿児島県農工銀行取締役兼頭取〕 C8-131
 折田太左衛門 776
 折田丹江〔折田兼至父〕 C8-131
 折田八郎兵衛〔船奉行〕 853
 折田与兵衛 755
 折田要蔵〔洋学者, 幕府摂海砲台築造掛〕 853

力

華佗(長沙)〔後漢医家〕 820

- 甲斐東溪〔画家〕 829
 懷素〔唐代書家〕 834（懷素）
 香川景樹（桂園）〔歌人，因幡の人〕 796，
 797（2）
 柿内長太郎〔常盤町貯蓄会員〕 797
 書川貢〔警防員〕 779
 柿本善次郎 833
 覚然 756（2），843（2）
 鹿児島県 772
 鹿児島県教育会 D9-54（2）
 鹿児島県立高等女学校校友会 D30-65
 （鹿児島県立尋常中学校）同窓会 772
 鹿児島市（鹿児島市役所） 757，770，776，
 779，794，841，D2-135，D4-138，
 D16-75（石碑原文には存在しない），
 D28-145，D29-147，D29-149
 鹿児島市観光協会 776
 鹿児島市教育会 779，788，801，803
 鹿児島市報徳会 791
 鹿児島市堀江町青年分団 791
 鹿児島市名山青年支団 791
 鹿児島史談会 768，802
 鹿児島実業新聞社 795
 加治常盛〔消防士長〕 779
 嶋之浦善助〔部長〕 779
 梶原年之助〔庄屋〕 807（梶原平之助），807
 柏木源藤〔織豊時代，島津氏家臣〕 818
 柏木武雄〔巡査部長〕 780
 柏原仲右衛門 833（柏原仲左衛門）
 堅山利房 771
 勝海舟（安房，安芳）〔軍艦奉行，海軍大輔〕
 856（勝安房。石碑原文は勝安芳）
 勝目金兵衛 818
 勝目清〔鹿児島市長〕 775（2），837，841
 勝目天舟 799
 桂久武〔日置島津家久風五男，家老，西南戦争
 時薩軍〕 784
 加藤角市 832
 加藤好照〔海浜院設立，医師〕 803，804
 加藤三十 832
 加藤昌旭（次兵衛）〔御普請方掛〕 834
 加藤昌盛（平八）〔御普請方掛〕 834
 懷良親王〔南北朝時代，征西將軍〕 D31-151
 加納久宜〔鹿児島県知事〕 772，837
 狩野探信（守政）〔狩野探幽長男，画家，江戸
 の人〕 790
 樺山可也〔鹿児島市長〕 792
 樺山久寛（伊織） 832
 樺山資紀〔海軍大将〕 793
 樺山資光 D14-140
 樺山辰次郎 D3-136
 鎌田強兵衛〔役人代〕 806
 鎌田政季〔主事〕 771
 鎌田政正 771
 鎌田藤右衛門 833
 上村金左衛門〔薩摩義士〕 775
 上村周助 792
 上村彦之丞〔海軍大将〕 773
 神村栄助〔警防員〕 779
 神村直行〔巡査部長〕 780
 神守空観〔東本願寺権大講義，鹿児島布教主
 務〕 789（2）
 亀沢源七〔地方検者〕 804
 蒲生清寛（美濃守）〔家老〕 D44-164
 川合岩七〔薩摩義士〕 775
 川合喜右衛門〔薩摩義士〕 775（川合嘉右衛
 門）
 川合権右衛門〔薩摩義士〕 775
 川合瀬兵衛〔薩摩義士〕 775
 川合惣右衛門〔薩摩義士〕 775
 川合長左衛門〔薩摩義士〕 775
 川井田正敦（清左衛門） 831（川井田清右衛
 門）
 川上久国〔示現流〕 817
 川上久東〔川上昌久子孫〕 842，843
 川上久連（但馬）〔家老〕 D47-108
 川上休太夫〔地方検者〕 755
 川上三平〔御内用方係役人〕 841
 川上島右衛門〔薩摩義士〕 775
 川上昌久（大和守）〔戦国時代，島津氏家臣〕
 842
 川上親盈 756
 川上親敬 756（川上親敏）
 川上親賢 756
 川上親香 756
 川上親上 756
 川上親晴〔警視總監〕 812
 川上新徳（翁介） 832（川上翁助親徳）
 川上親馮（藤次兵衛） 841
 川上直右衛門 838（川上与右衛門）

川上八郎左衛門〔天真流〕 825
 川上福次郎〔東桜島村長〕 812, 813 (村長)
 川上良助〔私学校生存者〕 839 (川上良介)
 川上□左衛門〔地方検者〕 804 (川北□左衛門)
 川北松次 792
 川口安政 849
 川口新左衛門 806
 川口雪蓬〔書家〕 818 (川口雪蓬),
 B19-129 (川口雪蓬)
 川口万次郎〔郡見廻〕 755
 川崎九兵衛〔石工〕 845
 川崎正蔵〔川崎造船所創設者, 川崎紡績所経営者〕 854
 川崎祐名〔貴族院議員〕 817
 河崎基理(為安) 832
 川路五右衛門 837
 川路氏〔川路利良母〕 811
 川路四郎 837
 川路善八〔中別府町〕 838
 川路利愛〔川路利良父〕 811
 川路利良(正之進, 竜泉)〔大警視〕 811
 川末清太郎 833
 川野百次郎 832
 川野□次郎 832
 川畑直志 792
 川畑恒次郎 832
 川畑堤二 793 (川畑堤二)
 川畑万吉 832
 川畑要介 792 (川畑要蔵)
 川原貞助 832
 川原直助 832
 河原通雄 D14-140
 川村純義〔西南戦争時海軍参軍〕 768 (2)
 韓愈(昌黎)〔唐代文人〕 C36-134
 関山元透〔心岳寺十世〕 831 (関山元秀)
 観水直計〔福昌寺塔頭有無軒〕 757
 神田橋綱孝 849
 神田橋友賢 849
 神辺郷右衛門 831
 神辺郷右衛門母(徳) 831
 甘露寺矩長〔大納言〕 764
 甘露寺氏(綾姫, 玉貌院)〔甘露寺矩長女, 島津重豪室〕 764 (2)

キ

喜入安代(一平, 主馬首)〔刀工〕 790 (2)
 菊池氏〔南北朝時代, 肥後菊池城主〕 759
 (2)
 菊池武夫〔貴族院議員〕 759
 木佐貫助市〔中別府町〕 838
 木佐貫清右衛門 838
 木佐貫長次郎〔中別府町〕 838
 木佐貫長八 838 (小島長八)
 岸章経(喜右衛門)〔磯御茶屋掛御普請方兼務御納戸奉行〕 833 (岸喜右衛門章経)
 岸章経(与十郎) 832 (岸与三郎章経)
 貴島純粹 824
 貴島助右衛門〔薩摩義士〕 775
 岸良兼敦(長兵衛) 841
 岸良貞友 850
 義諦 807
 喜多岡勇平〔福岡藩士〕 829 (2)
 北郷 → ホンゴウ
 北園秀治〔警防員〕 779
 基太村経義 792
 木下□□□□〔常盤町貯蓄会員〕 797
 木脇暎次郎〔郡元神社氏子総代〕 805
 木脇祐為〔木脇祐秀長男, 木脇祐辰兄〕 807
 木脇祐兄〔戦国時代, 島津氏家臣〕 808
 木脇祐光〔木脇祐兄長男, 織豊時代, 島津氏家臣〕 808
 木脇祐之(次良右衛門, 月樵斎)〔木脇祐兄子孫〕 808 (2)
 木脇祐秀(刑部左衛門)〔木脇祐辰父, 島津義弘に殉死〕 807 (石碑原文は形部左衛門□□)
 木脇祐昌〔木脇祐光孫, 伊東祐辰子〕 → 伊東祐昌
 木脇祐将〔木脇祐兄子孫〕 808
 木脇祐辰(納右衛門)〔木脇祐秀次男, 1647年切腹〕 807 (3)
 木脇祐辰〔木脇祐光長男〕 → 伊東祐辰
 木脇祐盛〔木脇祐為孫〕 807, 808
 木村市太郎 799
 木村基右衛門 815
 木村金平 815
 木村空山 → 木村時喜

木村空山室 → 市来氏 [木村探元母]
 木村五郎左衛門 815 (木村五郎右衛門)
 木村氏 815 (墓碑原文に名は未刻)
 木村氏 815 (墓碑原文に名は未刻)
 木村氏 (キク子) [木村時習次女] 816
 木村氏 (キン) 815
 木村氏 (信子) 815
 木村氏 (松子) [木村時秀三女] 816
 木村氏 (美代子) [木村時秀五女] 816
 木村氏 [木村時央女] 815
 木村氏 [木村時応女] 816
 木村氏 [木村時庸女] 816
 木村氏 [木村泰昉妹] 815
 木村時安 815
 木村時以 815
 木村時以母 815
 木村時員 815
 木村時央 (四郎左衛門) 815 (3), 816 (2)
 木村時央室 815 (木村時央母)
 木村時応 816 (3)
 木村時応室 816
 木村時規 [木村探元長男] 815 (2)
 木村時規室 815
 木村時喜 (空山) [木村探元父] 815 (2)
 木村時堯 (石見) [木村氏六代] 816 (2)
 木村時継 816 (2)
 木村時元 815
 木村時香 816 (3)
 木村時香妻 (貞子) 816
 木村時秀 815 (2), 816 (4)
 木村時習 792, 816 (3)
 木村時習妻 (エイ子) 816 (ユイ子)
 木村時順 816 (2)
 木村時順室 816
 木村時勝 (五郎左衛門尉) [南北朝時代, 木村氏初代, 島津氏家臣] 816
 木村時成 816
 木村時中 [木村時香次男] 792, 816 (2)
 木村時中妻 (貞子) 816
 木村時定 [木村時秀次男] 815
 木村時徳 815
 木村時美 815 (2)
 木村時美室 815
 木村時方 816 (2)
 木村時方室 816

木村時芳 816 (2)
 木村時芳室 816
 木村時房 816 (2)
 木村時房室 816
 木村時庸 816 (2)
 木村時隆 [木村時秀長男] 816
 木村七郎左衛門 815
 木村正蔵 816 (2)
 木村正蔵妻 (ヨシ子) 816
 木村泰賢 815
 木村泰護 815 (2)
 木村泰護室 815
 木村泰苗 816 (2)
 木村泰苗室 816
 木村泰武 815
 木村泰昉 815 (2)
 木村泰陽 815 (2)
 木村泰陽室 815
 木村探元 (静隠, 時経, 邨右衛門, 啜茶翁, 三
 暁庵, 梅下隠叟, 黔羸, 邨邨子, 大式) [画
 家] 789, 808, 815, 816
 木村探元室 → 萩原氏
 木村韜次郎 815
 木村半蔵 [木村探元三男] 815
 木村勇七 [日露戦没者] 799
 木村林庵 815 (2)
 木村林庵室 815
 肝付兼重 (八郎) [南北朝時代, 日向高城城
 主] 759, D43-162
 玉洞 [市来竜雲寺] 809
 玉貌院 → 甘露寺氏 (綾姫)
 清田純夫 [警防員] 779
 清藤蒼海 [警部補] 780
 清水盛之 (源左衛門) [用人] 818, 821 (2)
 桐野太三郎 806
 桐野利秋 [西南戦争時薩軍] 778, 784, 851
 桐原九郎 832
 木脇 → キノワキ

ク

空海 (弘法大師) 756, 843
 クーパー (Augustus Leopold Kuper) [イギリ
 ス海軍中将] 760 (キューバ)
 久木田五介 [医家, 西南戦争時薩軍] 821

(久木田五助)
 久条道孝〔左大臣、戊辰戦争時奥羽鎮撫総督〕
 825
 久世広周〔老中〕 855 (3)
 久邇宮〔朝彦親王、尊融法親王〕 855
 久保豪助 792
 久保之近〔巡查〕 780
 久保武助〔西南戦没者〕 800
 久保田直重 849
 隈崎氏〔横山安武母〕 848
 熊元知二〔巡查部長〕 780
 九良賀野登 818
 蔵前重二〔警防員〕 779
 栗田友清 849
 黒江正右衛門〔掛郡奉行地方検者〕 804
 黒木為楨〔陸軍大将〕 792
 黒木慶助〔警防員〕 779
 黒葛原 → ツヅラバラ
 黒田唯右衛門〔薩摩義士〕 775
 黒田才蔵〔清敦〕〔鹿児島県尋常師範学校長〕
 783 (2)
 黒田氏〔伊地知弥兵衛を継嗣に迎える〕 769
 黒田慎〔造士館都講〕 820
 黒田清一〔黒田才蔵次男〕 784 (2)
 黒田清熙〔黒田才蔵父〕 784
 黒田清綱〔黒田清直長男、枢密院顧問官〕
 784
 黒田清直〔黒田才蔵長男〕 784
 黒田清隆〔内閣総理大臣〕 817
 黒田鉄兵衛〔船手書役〕 853
 黒松清兵衛〔黒松銀行頭取〕 851 (2)
 黒松精一郎〔寺山地主〕 836, 840
 桑波田景福 849
 桑原氏藤 832
 桑元義政 849

ケ

桂庵玄樹〔島陰〕〔国分正興寺三十九世〕
 769, 788, 808, 809, C24-132 (2)
 契縁 → 渥美契縁
 荊山宗玉〔大竜寺六世〕 808 (2)
 景召〔慧日山東福寺〕 809
 契誠 → 渥美契誠
 けさ次郎〔吉野村在役〕 846 (峽次郎)

月光照水〔心岳寺十四世〕 831
 月渚永乗〔飢肥安国寺住持〕 769, 770
 月照〔京都清水寺成就院住職〕 823, 829,
 837, D40-157 (2)
 ケリーケンニー (Thomas Kelly-Kenny)〔イ
 ギリス海軍大将〕 793
 玄樹 → 桂庵玄樹
 玄昌 → 文之玄昌
 現如上人 → 大谷光瑩
 検見崎四郎 828
 憲良〔南泉院第五世〕 814

コ

小出谷喜八 806 (小山谷喜八)
 江夏二閑〔江夏友賢子〕 C24-132 (江夏自
 閑。石碑原文も同じ)
 江夏次左衛門〔薩摩義士〕 775
 江夏千柱 827
 江夏直義〔十郎〕〔小納戸〕 835
 光謙 → 霊空光謙
 孔子〔孔丘〕 796 (2)
 豪実〔叡岳探題〕 762 (亮実), 762 (2)
 郷田喜八〔薩摩義士〕 775
 郷田八郎左衛門〔薩摩義士〕 775
 光同寺一夫〔団員〕 779
 河野主一郎〔西南戦争時薩軍、青森県知事〕
 802, 803 (河野圭一郎), C35-134
 河野正志郎〔河野主一郎子孫〕 802 (河野正
 志), 802
 河野通貫〔正右衛門〕〔河野通鑑父〕 830
 河野通鑑〔浄介〕〔戊辰戦争時四番遊撃隊〕
 830
 河野通治〔寺山水道設計監督委員〕 839
 河野通俊〔河野通鑑弟〕 830
 郷原雄利 D14-140
 高峰〔心岳寺七世〕 831
 弘法大師 → 空海
 孝明天皇 856 (天皇)
 郡山一介〔下目付〕 853
 郡山徳次郎 792
 郡山蘭畹〔国華〕〔唐船方、使番〕 788
 古賀精里〔昌平坂学問所儒官〕 784
 国分勘太郎〔西南戦没者〕 800
 後桜町天皇 763

越山茂右衛門 808
 小城安金 849
 古城治兵衛〔中別府町〕 838
 五代四郎左衛門 833
 五代秀堯〔書役〕 765 (2), 766, 777 (□□), 777, 780 (2), 781 (4), 782, 844 (2), 845
 五代友厚〔英国視察員〕 853
 後醍院内蔵助〔織豊時代, 島津氏家臣〕
 D42-159
 後醍院真柱〔彦次郎, 玉廼舎, 自凝舎〕〔大河平隆棟次男, 後醍院氏継嗣, 国学者〕
 792, 792 (知柱), 827, D10-139
 後醍院良季〔後醍院真柱三男〕 828
 後醍院良望〔後醍院真柱次男〕 792, 828
 後醍院良茂〔後醍院真柱長男〕 828 (2)
 後醍醐天皇 D31-151
 児玉七之進 799
 児玉主八 792
 児玉貞蔵 814
 児玉貞風 814
 児玉南堂 (実門)〔使番記録奉行勤〕 788
 児玉利彰〔本学校一等教長〕 831, D14-140
 児玉利貞 (梅庵, 金鱗)〔儒者〕 818
 児玉利容 (主右衛門)〔児玉利貞子, 記録奉行〕 818
 コップス (Henri Gerard Herman Coops Busgers)〔幼年学校講師, イギリス人〕
 778
 近衛家〔京都公家〕 776
 近衛経熙 (藤公)〔右大臣〕 759, 764, 781
 近衛忠熙 (藤公)〔内大臣〕 781, 782, 855 (3)
 近衛忠房〔近衛忠熙子, 権大納言, 内大臣〕
 855 (3)
 木尾義休 → 円了無参
 木場孝之助 793
 木場貞良〔副史〕 834, 835
 小浜 → オバマ
 小原 → オバル
 小兵衛〔名主〕 807
 小牧市兵衛 755
 小牧昌業〔錦鶏間祇候, 文学博士, 貴族院議員〕 768, 770, 786, 851, 854, 857
 小松金八〔東桜島村有村駐在巡查〕 812

小松帯刀〔家老〕 759
 小松文雄 (佐多文雄)〔鹿児島県属, 鹿児島県立第一高等学校教師〕 774, 786, 790, 794, 804
 小松宮 (彰仁親王, 仁和寺宮, 嘉彰親王)〔戊辰戦争時征東大將軍〕 824, 825
 後水尾天皇 770
 小森政倚 (武兵衛) 841
 子安地藏之助 (東郷実一, 島猛夫)〔武術家〕
 818
 小柳宗清 850
 小山直方 792
 小山田助右衛門〔権領年寄事〕 761
 惟宗政公 (市来政公, 蘭水)〔副史〕 770
 権助 807
 巖如上人 → 大谷光勝
 権八〔孝子〕 813, D47-108

サ

西園寺公望〔戊辰戦争時山陰道鎮撫総督〕
 C32-133
 西郷午次郎〔西郷隆盛子〕 792
 西郷菊次郎〔西郷隆盛子, 京都市長〕 792, 795
 西郷九兵衛 (道知)〔西郷隆盛始祖〕 795 (消知)
 西郷従道〔西郷隆盛弟, 海軍大臣〕 792, B19-129
 西郷従徳〔西郷従道次男, 貴族院議員〕 768
 西郷寅太郎〔西郷隆盛子, 陸軍大佐〕 792, 799
 西郷直次郎〔船大工〕 853
 西郷隆準〔西郷隆盛甥〕 792
 西郷隆盛 (南洲) 759, 768 (2), 778, 784, 785, 787, 792, 793 (2), 794 (2), 795, 800, 801, 802, 836, 837 (3), 849, 851, 855 (3), B19-129 (4), C35-134 (5), C36-134 (2), D4-137, D4-138, D29-149, D40-157 (2)
 税所五右衛門〔船手下目付〕 853
 税所篤〔精忠組, 宮中顧問官〕 794, 804 (2)
 税所本然 794
 榊原政治〔庄内藩士〕 779

坂元春雄〔部長〕 779
 坂元惣右衛門 833
 坂元与市〔金物師(金元師)〕 853
 相良嘉平次〔年行司〕 761
 相良亀次郎 832
 相良吉次郎 832
 相良清助 832
 相良政太郎 832
 相良武左衛門 833
 相良長祥 849
 相良長政〔御庭奉行〕 777
 相良直次郎 832
 相良八右衛門 833
 相良林太郎 832
 崎元才右衛門〔薩摩義士〕 775
 崎山直八 792
 作兵衛〔上別府〕 754(作)
 佐久間盛定 D14-140
 佐久間盛貞〔吏人〕 848
 酒匂兼愛 849
 酒匂庄五郎 832
 酒匂正八〔中別府町〕 838
 酒匂仲之進〔中別府町〕 838
 迫田重成〔名瀬町消防組消防手〕 779
 迫田辰二〔団長〕 779
 迫田利済(太次右衛門)〔郡奉行〕 818
 迫田利貞 792
 佐々木権之助 818
 佐々木弥兵衛 805
 笹山慶賀 808
 佐多義種〔巡查部長〕 780(佐多美種)
 佐多氏〔折田兼至母〕 C8-131
 佐多文雄 → 小松文雄
 佐竹市左衛門 837
 佐竹次郎右衛門(光明坊)〔泗川新寨戦三勇士〕 767
 貞助〔名主〕 807
 佐藤貢〔荒田八幡宮宮司〕 802
 佐藤常次 832
 佐藤坦〔昌平坂学問所教官〕 809
 ザビエル(Francisco de Xavier)〔イエズス会宣教師, スペイン人〕 775
 鯨島黄裳 → 鯨島白鶴
 鯨島甚五左衛門〔薩摩義士〕 775(鯨島甚左衛門)

鯨島善太郎 833
 鯨島白鶴(黄裳)〔書家〕 763
 鯨島勇藏〔山川町消防組消防手〕 779
 猿渡実勝(彦七) 832(猿渡彦七実肱)
 猿渡成左衛門〔郡奉行〕 804(猿渡成右衛門)
 沢為量〔戊辰戦争時奥羽鎮撫副総督〕 825
 (2)
 三条実美〔権中納言〕 826, 829, 829(条公), 855(3), 856
 三四郎〔吉野村在役〕 846
 三平〔吉野村在役〕 846

シ

椎原国幹〔西南戦争時薩軍, 公立鹿児島学校長〕 818
 椎原国正(竜藏)〔御普請方掛地方検者定数助〕 833
 シーモア(Edward Seymour)〔イギリス海軍元帥〕 793(ミーモア)
 四右衛門 807
 塩田良右衛門 832
 塩津直吉〔巡查部長〕 780
 塩屋八右衛門 838
 塩屋浦助之丞〔中別府町〕 838(塩屋助之丞)
 塩屋浦八之丞〔中別府町〕 838(塩屋八之丞)
 重田彦右衛門〔郡奉行〕 755
 重富一眼坊 D42-160
 重野助次郎〔権領年寄事〕 761
 重信彦二〔海軍大尉〕 792
 重信兵之助〔石工〕 830
 重久雄彦 792
 重村寿三男〔巡查部長〕 780
 子貢〔春秋衛儒者〕 761
 自巖 → 莊幢自巖
 慈山妙立〔天台学僧〕 761
 志々目友一〔蒸気船製造関係者〕 853
 史鱸(史魚)〔春秋衛大夫〕 849
 慈照院 → 徳川氏(保姫)
 下町区会 777
 篠原新右衛門〔室町中期, 上町市人〕 760, 761
 篠原新右衛門〔寛政年間, 篠原新右衛門子孫〕 761(3)
 篠原仁之助〔警防員〕 779

- 篠原芳幸〔篠原新右衛門子孫〕 761
 篠原芳麿〔篠原新右衛門子孫〕 761
 司馬遷（子長）〔前漢歴史家〕 C36-134
 柴田圭三〔開成所フランス語教授〕 818
 渋谷国安〔歌人〕 C36-134
 島子兼方 849
 島津家久（慈眼公，忠恒）〔島津十八代当主，初代藩主〕 770, 781, D28-146
 島津貴久（大中公，虎寿丸）〔島津十五代当主〕 781, 808 (3), 817
 島津義久（貫明公，竜伯）〔島津十六代当主〕 770, 808, D44-163
 島津義弘（松齡公，維新斎）〔島津十七代当主〕 767, 770, 777, 834, D28-146, D42-159
 島津吉貴（浄国公）〔島津二十一代当主，四代藩主〕 762, 764, 766, 790 (3), 844 (4), D42-159, D44-163
 島津久光（忠教，山城，中將）〔玉里島津家〕 778, 781 (忠敬), 782, 788, 794, 798, 801, 823, 825, 826 (公，我君公), 828, 829 (島津侯。石碑原文は嶋津侯), 854
 島津久恒 D28-146
 島津久治（壺文公）〔島津久光次男，宮之城島津家久宝継嗣，家老〕 847, 849, 856
 島津久昵〔島津重豪七男，丸岡藩主有馬誉純継嗣〕 764
 島津久備（登）〔永吉郷領主，若年寄，家老〕 832, 852
 島津久風（但馬）〔日置島津家，家老〕 832
 島津久福（伯耆）〔佐土原島津家，家老〕 823, D47-108
 島津久保〔島津義弘次男〕 D28-146
 島津久輔（主殿）〔永吉島津家，家老〕 832
 島津久宝（豊後）〔黒木郷領主，家老〕 803, 852
 島津久豊（義天公）〔島津八代当主〕 760, D44-164 (3), D45-164
 島津久明〔日置島津家久微子〕 831 (2)
 島津久容〔佐志郷領主〕 797
 島津家編輯所 794 (島津家編修所)
 島津継豊（有邦公）〔島津二十二代当主，五代藩主〕 766, 777 (有徳公)
 島津元久（恕翁）〔島津七代当主〕 781, D44-164 (4), D45-164
 島津広吉〔郡元神社氏子総代〕 805
 島津光久（寛陽公）〔島津十九代当主，二代藩主〕 782, 788, 841, 842, C24-132 (2), D43-160, D44-163 (久光)
 島津歳久〔日置島津家〕 831
 島津氏〔薩摩藩主〕 821, 850, 854, B19-129, D41-158 (2), D41-159
 島津氏（郁姫）〔島津斉宣六女，近衛忠熙室〕 781, 782 (源夫人)
 島津氏（栄姫，信解院）〔島津綱貴女，松平定英室〕 799
 島津氏（敬姫）〔島津重豪次女〕 764 (第二女)
 島津氏（悟姫）〔島津重豪長女〕 764 (長女)
 島津氏（孝姫，寿姫）〔島津重豪八女，桑名藩主松平定和室〕 764 (第八女)
 島津氏（貢姫）〔島津重豪十一女，新庄藩主戸沢正令室〕 764 (第十一女)
 島津氏（淑姫，定姫，豊姫）〔島津重豪十女，郡山藩主柳沢保興室〕 764 (第十女)
 島津氏（勝姫）〔島津斉宣女，松平康寿室〕 810
 島津氏（親姫，種姫）〔島津重豪九女，大垣藩主戸田氏正室〕 764 (第九女)
 島津氏（千百子）〔島津忠公女，島津久光室〕 856
 島津氏（都美）〔島津重豪母〕 763
 島津氏（茂姫，寔子）〔島津重豪三女，徳川家斉室〕 764 (第三女), 764 (太妣), 781 (藤太妃), 782 (藤正妃)
 島津氏（隣姫，松寿院）〔島津斉宣次女，種子島久道室〕 781, 782
 島津氏久〔島津六代当主〕 D44-164
 島津実久〔薩州島津家〕 808
 島津重豪（大信公，栄翁，久方，善次郎，忠洪，又三郎）〔島津二十五代当主，八代藩主〕 763, 765, 775, 777, 781 (太信公), 782 (太信公), 788 (2), 834 (大老公), 834 (公。筆塚に2か所，千葉蓮碑に1か所)
 島津重年（円徳公）〔島津二十四代当主，七代藩主〕 763 (2), 786, 823 (府君)
 島津庄次郎 798 (2)
 島津昌高〔島津重豪次男，中津藩主奥平昌男継嗣〕 764

- 島津勝久〔島津十四代当主〕 842, D45-164
 島津信順〔島津重豪十三男, 八戸藩主南部信真継嗣〕 764 (信須)
 島津斉興 (宰相公, 参議公)〔島津二十七代当主, 十代藩主〕 763 (3), 764, 765, 765 (今公), 770, 777, 780, 781 (5), 781 (今公), 782 (2), 801, 810, 814 (三公), 844 (今公), 854, B36-130, D47-108
 島津斉宣 (中将公)〔島津二十六代当主, 九代藩主〕 763, 780, 781 (2), 795, 811 (時ノ太守), 841
 島津斉彬 (順聖公, 照国公)〔島津二十八代当主, 十一代藩主〕 769, 770, 778, 779, 788, 795, 800 (2), 801 (2), 805, 806, 814 (三公), 828, 835, 847 (我君), 851 (2), 853, 855, D40-158, D47-108
 島津斉漣 (長漣)〔島津重豪十二男, 福岡藩主松平斉清継嗣〕 764
 島津宗信 (慈徳公, 益之助)〔島津二十三代当主, 六代藩主〕 766 (2)
 島津忠温〔今和泉島津家〕 764
 島津忠義 (茂久)〔島津二十九代当主, 十二代藩主〕 760, 778, 788, 798 (島津武久), 801, 803, 814 (三公), 815, 826 (藩主), 848 (邦君), 853, 855 (3), 856 (3), D47-108 (命公。石碑原文は今公)
 島津忠久 (得仏公, 太祖, 源忠久)〔島津初代当主〕 763, 769, 800, 808, 854, C24-132
 島津忠喬 (安芸)〔今和泉島津家〕 780
 島津忠欽〔島津久光五男, 今和泉島津家を相続〕 856
 島津忠経〔島津久光六男〕 848 (公子)
 島津忠公 (山城)〔重富島津家〕 781, 855, 856
 島津忠厚〔島津重豪四男, 今和泉島津家忠温継嗣〕 764
 島津忠剛 (啓之助)〔島津斉宣七男, 今和泉島津家忠喬継嗣〕 780, 782
 島津忠国 (大岳公)〔島津九代当主〕 781
 島津忠濟〔島津久光七男, 玉里島津家〕 803 (玉里島津公), 804 (島津公), 856 (2)
 島津忠時 (道仏公)〔島津二代当主〕 766
 島津忠重〔島津三十一代当主〕 778 (3), 786 (島津両公爵), 789, 802, 835, D9-54, D41-159
 島津忠昌〔島津十一代当主〕 767 (2), 788, 809 (国主公)
 島津忠承〔玉里島津家忠濟長男〕 786 (島津両公爵), 857, D9-54
 島津忠長 (図書頭)〔宮之城島津家初代〕 D28-146
 島津忠備〔島津忠義五男〕 853
 島津忠良 (日新公)〔伊作島津家〕 788
 島津忠廉〔豊州島津家〕 809
 島津長丸〔宮之城島津家久治次男〕 785, 800, 851
 島津珍彦〔島津久光四男, 重富島津家〕 788, 856
 島津貞久 (道鑑公)〔島津五代当主〕 842, 842 (島津), D43-162 (3)
 島津芳之進〔島津久光八男〕 856
 島津頼久〔島津貞久長男〕 842
 清水源兵衛〔見聞役〕 853
 清水盛之 → キヨミズ
 下村七之助〔西南戦没者〕 800
 謝朓〔六朝詩人〕 759 (謝眺。石碑原文も同じ)
 朱子 (朱熹)〔南宋儒者〕, 809 (朱), 809 (朱子。石碑原文は朱氏), C24-132 (朱)
 朱震亨 (丹溪)〔元代医家〕 820
 周山〔南泉院第八世〕 763, 814, 815
 舜〔上古帝王〕 796
 俊寛〔平安末期, 少僧都〕 776
 如竹 → 泊如竹
 勝縁 → 大谷勝縁
 昭憲皇太后〔明治天皇皇后〕 796
 嘯山〔宇治興聖寺〕 821 (3)
 松寿院 → 島津氏 (隣姫)
 常照院 → 松平氏 (米姫)
 小蔵〔孝子〕 810
 勝尊 → 大谷勝尊
 莊幢自巖〔福昌寺五十九世〕 842
 聖徳太子 756
 昭和天皇 794 (天子), 797 (摂政宮), 799 (東宮)
 白石盈芳 (如瓢) 832 (白石如瓢盈彦)
 白石庄太郎 833

白尾国柱〔記録奉行〕 788
 白男川金右衛門 832
 白男川保次郎 832
 白川資訓王〔神祇伯〕 792, 828
 白川慈弁〔東本願寺大講義〕 789（白河慈弁）
 白坂瀬〔部長〕 779
 新右衛門〔吉野村在役〕 846
 甚右衛門〔吉野村在役〕 846
 信解院 → 島津氏（栄姫）
 神宮司武左衛門 833
 新越又一〔警防員〕 779
 晋洲〔心岳寺十三世〕 831（晋州）
 真乗〔南泉院第九世〕 815
 信証院 → 江田氏（豊，登代）
 仁助〔吉野村在役〕 846
 真湛〔千手院〕 815
 新原 → ニイハラ
 新福助之進〔常盤町貯蓄会員〕 797
 甚兵衛〔名主〕 807
 神武天皇 757
 新村助次郎 799

ス

末川久救（周山）〔垂水島津家貴儔次男，歌人〕 820
 末川久救妻（嘉代子） 820
 末広金次郎〔常盤町貯蓄会員〕 797
 杉元安友 849
 スケップル（J. A. Hamminck Schepel）〔幼年学校講師，オランダ人〕 779
 図師直左衛門〔地方検者〕 755
 調所広厚（安之進） 832
 調所広郷（笑左衛門）〔家老〕 832
 調所広丈〔調所広郷三男，貴族院議員〕 817
 鈴木優〔消防士長〕 779
 住吉栄熊〔石工〕 792
 諏訪武敬（治部） 832（諏訪治部武敏）

セ

正国 → 橋口正国
 正秀〔泉秀院〕 814
 正風会 793
 正房 → 丸田正房

関右衛門〔薩摩義士〕 775
 関角助〔薩摩義士〕 775
 関八内〔薩摩義士〕 775
 石文〔安養院三十二世〕 843
 雪舟〔室町後期，画家，備中の人〕 790
 瀬戸口重治（弥七郎）〔泗川新寒戦三勇士〕 767
 瀬戸山石助〔薩摩義士〕 775
 瀬戸山金左衛門〔権領年行司事〕 761
 瀬戸山清太郎 832
 瀬之口覚四郎〔海軍大尉〕 D20-142
 宣観〔陽盛院法印〕 756
 全長智姜〔心岳寺十二世〕 831

ソ

楚昭王〔春秋楚王〕 796 (2)
 楚襄王（楚頃襄王）〔戦国楚王〕 795, 796 (2)
 宋玉〔戦国楚大夫〕 795 (5), 796 (2)
 曾槃〔記室〕 788
 宗玉 → 荊山宗玉
 双桂 809
 漱石 758, 759
 副島種臣〔佐賀藩脱藩，外務卿〕 C36-134
 外菌 → ホカゾノ
 園田安満（藤左衛門） 757
 園田才治 D29-150
 園田氏〔高麗町〕 802
 菌田新兵衛〔薩摩義士〕 775
 空山新右衛門〔薩摩義士〕 775（空山新左衛門）
 空山新右衛門〔薩摩義士〕 775
 空山道鉄信士〔薩摩義士〕 775（空山道鉄居士）
 空山八郎兵衛〔薩摩義士〕 775
 空山万治郎〔薩摩義士〕 775
 空山利右衛門〔薩摩義士〕 775
 空山六平〔薩摩義士〕 775
 染川安宅（源七郎） 832
 染川伊兵衛〔染川権輔父〕 787
 染川吉次郎 833
 染川権輔（雄蔵）〔鹿児島市会議員〕 787
 染川綱世 849
 染川綱政 849

染川綱則 849

染川彦助〔私学校生存者〕 839

孫楚〔晋代の人〕 759

タ

泰岳〔都城常德寺十三世〕 C24-132

醍醐忠敬〔中将〕 825

大正天皇 812 (天皇)

大鼻宗育〔福昌寺四十五世〕 767

第四百四十七銀行 837

高崎孝右衛門〔高崎氏(千世)父〕 791

高崎氏(千世)〔孝女〕 791

高島昭徳 849 (847 頁の旧宮之城島津家墓地

献灯の一文が混入したもの)

高島頼之助〔西南戦争特別働第一旅団長〕

803

高瀬正宇 818

高田利公〔町奉行〕 760

鷹司政通〔関白〕 855

高梨宗市〔警防員〕 779

高野正憲〔部長〕 779

高橋達〔戸次鑑繁従弟〕 829

高山岩次郎〔常盤町貯蓄会員〕 797

高山三四郎〔常盤町貯蓄会員〕 797

高山次郎助〔常盤町貯蓄会員〕 797

滝間平八〔薩摩義士〕 775

滝沢白竜〔神道天行居道士〕 803

宅右衛門〔岩門〕 754

武青年会 799

武青年団 799

竹下覚之丞〔蒸気船製造関係者〕 853 (石碑

原文は竹下覚之丞)

竹下義額 834

竹下清右衛門〔砲術家〕 835

武田竹佳 818

武田博〔団員〕 779

竹中伝六〔薩摩義士〕 775

竹之内勢介 792

竹之内篤清 849

竹之下氏〔河野通鑑母〕 830

武宮俊雄 792

竹屋氏〔刀工、江戸の人〕 790

田島晴雄〔写真店〕 D3-136

田尻栄助〔吉野水道組合組合長〕 836, 839

(839 頁の水道碑の一文が混入したもの)

田尻源兵衛 844 (2)

田尻種寛〔島津久明弟〕 831

田尻種義〔私学校生存者〕 839

田代清方〔示現流〕 817

田代武二〔上東郷村警防団警防員〕 779

多田満仲 → 源満仲

立花種恭(出雲守)〔三池藩主〕 772

立花種道(遠江守)〔三池藩主〕 772

立元政右衛門〔鹿児島市消防組消防手〕 779

立山三左衛門〔年寄〕 761

立山平次郎〔年寄〕 761

堅山正金 849

堅山正綱 849

堅山正道 849

堅山利器(八郎)〔寺山掛御小納戸〕 847 (堅

山武八郎利器)

田中栄介 832

田中国重〔陸軍大将〕 817

田中三右衛門 806

田中四郎兵衛〔御馬預〕 846 (田司校。石碑

原文は田司牧), 846

田中勝政〔部長〕 779

田中斉〔川辺町消防組消防手〕 779

田中政助 832

田中善兵衛〔薩摩義士〕 775

田中増義〔警防員〕 779

田中仲之進〔私学校生存者〕 839

田中仲兵衛〔常盤町貯蓄会員〕 797

田中友固 850

田中六左衛門〔薩摩義士〕 775

田中□□□□〔常盤町貯蓄会員〕 797

田辺延寿(七左衛門)〔山口直秀父〕 824

田辺延章〔田辺延寿長男〕 824

田辺延命〔田辺延寿次男〕 824

田辺狷吉 818

谷川時雄〔岩川町警防団警防員〕 779

谷口深〔部長〕 779

谷崎氏〔伊地知季寿母〕 825

谷山純賛〔谷山純香子〕 844

谷山純香(角太夫) 844 (2)

谷山道德(孫右衛門) 841

谷山隆信〔南北朝時代, 谷山城主〕 D31-151

種子島久道(伊勢)〔種子島島主〕 781 (2)

種子嶋時尚(宇左衛門)〔監作〕 772

種田賢二〔巡查〕 780
 種子田秀峰 849
 田原武左衛門 808（田原武右衛門）
 田原明章（直助，古愚）〔御徒目付，軍賦役〕
 835，844，845，852
 田淵早苗〔巡查部長〕 780
 玉利一誠（沖一誠）〔玉利喜造弟，群馬県技
 師〕 D17-141
 玉利喜造〔鹿児島高等農林学校長〕 D17-141
 玉利喜造母（茂代） D17-141
 玉利親賢（調兵衛）〔玉利喜造兄，海軍大佐〕
 D17-141
 玉利盛光 850
 玉利富次郎 792
 田森長次郎〔第七高等学校造士館教授〕
 802，837（森長次郎）
 垂水栄蔵〔警防員〕 779
 湛口〔福泉寺五代〕 754（謹書）
 丹波氏（享姫，蓮亭院）〔丹波長貴女，島津斉
 宣室〕 798

チ

智永〔隋代書家〕 834
 地上盛香 D14-140
 智卿〔南泉院第十世〕 815
 智金 → 提岩智金居士
 知識四郎〔知識兼雄次男，酪農家〕 D41-159
 智周 → 徧詢智周
 智潤〔南泉院第四世〕 762（智洞）（2），762
 （智潤），814
 智蔵〔南泉院第三世〕 814
 秩父季保〔家老〕 821（3）
 智雄〔徧詢智周弟子〕 762
 智融 → 慧照智融
 中馬猪太郎〔寺山水道関係者（発企者）〕 839
 （中馬猪之助）
 中馬太彦〔警防員〕 779
 中馬仲之丞〔牧司〕 846（中馬仲之丞）
 千世 → 高崎氏
 張機（仲景）〔後漢医家〕 820
 張耳〔秦末の人〕 C36-134
 張瑞図〔明代画家〕 789（趙瑞図。石碑原文
 も同じ）
 帖佐亥之助 792（同盛之助）

帖佐英二〔警防員〕 779
 帖佐盛明 792
 長左衛門〔北門（花門）〕 754
 朝舜〔近江芦浦観音寺十三代〕 761
 澄全 756（2），843（2）
 智良〔南泉院第七世〕 762（2），814
 陳允頤〔清代横浜領事〕 C36-134
 陳蕃〔後漢の人〕 759
 陳余〔秦末の人〕 C36-134
 陳亮（竜川）〔南宋儒者〕 837
 鎮守助八〔常盤町貯蓄会員〕 797

ツ

通岸海門〔妙谷十七世〕 809（道岸海門）
 塚田正家〔工事監督〕 755（塚田正太郎）
 辻元憲重 772
 津田武〔鹿児島新聞論説委員〕 771
 土持孫右衛門 833
 黒葛原吉左衛門 833
 恒吉軍太郎〔薩摩義士〕 775
 津曲貞助〔津曲学園創立者〕 760
 津留氏〔後醍醐院真柱母〕 827
 津留氏 830
 鶴田森期 772

テ

程子（程顥，程頤）〔北宋儒者〕 809（程），
 C24-132（程）
 提岩智金居士〔薩摩義士〕 775
 手塚綱清 849
 テットロー（John Tetlow）〔工務長，イギリス
 人〕 853
 寺尾定矯（庄之進） 832
 寺島宗則 → 松木弘安
 寺前敬介 D3-136
 田横〔秦末斉王〕 C36-134（2）
 天桂〔興国寺現住〕 808
 天文館二丁目通会 776（天文館通二丁目通会）

ト

土井利厚〔老中〕 763
 土居直清 849

藤右衛門〔名主〕 754
 東郷吉太郎〔東郷平八郎甥、海軍中将〕 792
 東郷実古（愛之進）〔英国留学生〕 819
 東郷実行（長左衛門）〔東郷重張孫、弓術〕
 819
 東郷実香 819
 東郷実承（四郎太） 819
 東郷重尚（長左衛門）〔日置流弓術〕 818
 東郷重張（四郎左衛門）〔江夏二閑三男、東郷
 重尚継嗣、弓術〕 819
 東郷長次〔東郷実香次男〕 819
 東郷平八郎〔元帥、海軍大将〕 769, 791,
 792, 793 (2), 821, 851 (2), D29-150,
 D32-153（石碑原文には存在しない）,
 D40-157
 東条一之〔巡査〕 780
 東条堅宗 850
 東条堅篤 850
 堂菌市助〔中別府町〕 838（北園市助）
 堂菌嘉右衛門〔中別府町〕 838（堂園嘉右衛
 門）
 堂菌勘四郎〔中別府町〕 838（堂園勘四郎）
 堂菌次兵衛〔中別府町〕 838（堂園次兵衛）
 堂菌七之丞〔中別府町〕 838（堂園七之丞）
 堂菌太郎吉〔中別府町〕 838（堂園太郎吉）
 堂菌長丞 838（堂園長之丞）
 東南家賢〔東本願寺文書科員〕 789
 遠武秀行〔横須賀鎮守府長官〕 792（遠竹秀
 行）
 時田虎吉〔副分団長〕 779
 徳川家慶〔十二代将軍〕 764（今大君）
 徳川家治（浚明大君）〔十代将軍〕 763
 徳川家重（惇信大君）〔九代将軍〕 763
 徳川家斉〔十一代将軍〕 763（太太君）, 764
 （太太君、太君。石碑原文はすべて太太君）,
 781（太夫君）, 782（太太君）
 徳川家茂〔十四代将軍〕 855（将軍）, 856
 徳川吉宗〔八代将軍〕 790（将軍）
 徳川慶喜〔十五代将軍〕 823 (2), 824
 (3), 825, 830 (2), 855 (5), 856 (3)
 徳川慶勝〔尾張藩主〕 855 (2)
 徳川綱吉〔五代将軍〕 761（大王）
 徳川氏（保姫、慈照院）〔徳川宗尹女、島津重
 豪室〕 764 (2)
 徳川斉昭〔水戸徳川家〕 835

徳川宗尹〔一橋徳川家〕 764
 徳田助右衛門〔薩摩義士〕 775
 徳大寺実則〔宮内卿〕 785
 徳富蘇峰（猪一郎）〔ジャーナリスト〕 801
 得能佐平次〔郡奉行〕 811（得能左平次）,
 811
 床次竹二郎〔内務大臣〕 805
 戸田正次 762
 戸田成正〔徧詢智周父〕 761
 戸次 → ヘツギ
 泊如竹〔屋久島本仏寺住持〕 770, 788,
 C24-132 (4)
 富永金蔵〔西南戦没者〕 800
 外山輝宣〔警部補〕 780
 富山半蔵〔山本氏（志賀）の夫〕 830
 豊臣秀吉 840, D28-146 (2)
 鳥居如見〔面打、仏師〕 808（鳥井如見）
 鳥居正倫 849（鳥井正倫）

ナ

内藤十左衛門〔薩摩義士〕 775
 内務省 D26-144
 永岩次郎兵衛 831（永吉次郎兵衛）
 永岩次郎兵衛母 831（永吉次郎兵衛母）
 中江佐八郎〔海浜院設立、医師〕 803, 804
 永江尚清（休之丞） 832
 長倉友治 799
 長崎勘助〔船奉行〕 852
 長崎源吾〔蒸気船製造関係者〕 853
 中島光盛〔巡査部長〕 780
 中嶋谷右衛門 754（中島谷右衛門）
 中嶋八右衛門 806
 中島弥助 832
 中島利賛（伊右衛門） 841
 中島利節（伊右衛門） 841
 永田仙之助 833（永田仙ノ助）
 永田伴右衛門〔薩摩義士〕 775
 永田彦次郎 833
 永田左右衛門〔薩摩義士〕 775
 永田祐重〔鹿児島市消防組副組頭〕 779
 中西深斎〔医家、京都の人〕 822
 中野兼棟 850
 中野源次郎〔工事監督〕 755（中緑源次郎）
 永野甚左衛門〔鹿児島府下町〕 833（永崎甚左

衛門)
 中原栄右衛門 806
 中原尚道〔中原猶介父〕 800
 中原猶介（尚勇，鉄心斎）〔庭方，製造係〕
 800, 835, 853
 中馬 → チュウマン
 中間伊三次 799
 中間吉之助〔中別府町〕 838
 中間金次郎〔常盤町貯蓄会員〕 797
 中間金蔵 838
 中間蔵之丞〔中別府町〕 838
 中間小太郎〔中別府町〕 838
 中間十右衛門 838
 中間鷹司〔部長〕 779
 中俣友次郎 832
 中村勘兵衛〔私学校生存者〕 792, 839（中
 村与兵衛）
 中村紀一 792
 中村義郷（始） 832（中村始義禄）
 中村吉太郎 833
 中村岐吉〔団員〕 779
 中村光次〔部長〕 779
 中村綱三 849
 中村秀純（弾正忠，長谷場秀純）〔南北朝時
 代〕 759, D43-162（中村禪正忠秀純）
 中村重一〔団員〕 779
 中村初二〔団員〕 779
 中村助八〔蒸気船製造関係者〕 853
 中村忠一〔副分団長〕 779
 中村忠雄〔団員〕 779
 中村鉄熊 792（中村武熊）
 中村彦助〔蒸気船製造関係者〕 853
 中村文吉〔団員〕 779
 中村連〔寺山水道設計監督委員〕 839（中村
 通）(2)
 中村和雄〔団員〕 779
 中山忠能〔議奏，議定〕 855 (2)
 永山市左衛門〔薩摩義士〕 775
 永山嘉右衛門〔薩摩義士〕 775
 永山盛喜〔森元貞興長女の夫〕 820, 822
 永山宗一〔巡査〕 780
 永山孫市〔薩摩義士〕 775
 永山直正 849
 永吉佐平〔常盤町貯蓄会員〕 797
 永吉惣兵衛〔薩摩義士〕 775

永吉元三郎〔日露戦没者〕 799
 梨本宮（守脩親王，昌仁入道親王） 815
 波江野金助 806（波江之金助）
 波平安行（大和守）〔刀工〕 790 (3)
 奈良崎甚右衛門 754（奈良崎長右衛門）
 奈良原覚（大膳正）〔奈良原満父〕 767 (2)
 奈良原周（帯刀）〔奈良原満祖父〕 767 (2)
 奈良原繁（喜八郎）〔奈良原満子孫，寺田屋事
 件鎮撫使，宮中顧問官〕 767
 奈良原満（助八）〔島津忠昌に殉死〕 767
 成田正右衛門〔砲術館統裁〕 770
 成尾常彦〔巡査部長〕 780
 南洲神社崇敬者総代 768
 南部信真〔八戸藩主〕 764

二

新原畠市 799
 新元仲左衛門 833（新元仲右衛門）
 新元□□□ 806（新□□□□）
 ニール（Edward St. John Neale）〔イギリス代
 理公使〕 760（ニキール。石碑原文はニ井
 ール），798
 新納久仰（駿河）〔家老〕 835, 852, 853,
 D47-108
 新納久修（刑部）〔英国視察員〕 853
 新納時徴 792（新納時徹）
 新納宗之介 792
 新納太〔紡績所社長〕 853, 854
 二階堂維遠（駿河守）〔平安末期，二階堂氏初
 代〕 798
 二階堂行温〔島津久富四男（二階堂行信）を継嗣
 に迎える〕 824
 二階堂行信（右八郎）〔島津久富四男，二階堂
 行温継嗣，戊辰戦争従軍〕 823
 二階堂行旦〔家老〕 798
 二階堂行中（新十郎） 832
 二階堂泰行（隠岐守）〔鎌倉末期，阿多田布施
 地頭〕 798
 西常章 826
 西壮一〔分団長〕 779
 西長親〔士族〕 838
 西徳次郎〔外務大臣〕 817
 西久保肇〔警部補〕 780
 西桜島村耕地整理組合 D33-156

西田秋治〔警部補〕 780
 仁科政徳 849
 西村吉之助 833
 西村貞次郎 833
 西村三十郎〔年寄〕 761
 西村時彦〔宮内省御用掛，文学博士〕 787，
 821，C24-132
 西村長右衛門 755
 西村道仁（矢一郎）〔技術者〕 836
 二条齐敬〔閼白〕 856（2）
 西四辻公業〔侍従〕 856
 新田氏（まん亀）〔新田太郎八妹，孝子〕 810
 新田治右衛門〔新田太郎八父〕 810（新田治
 左衛門）
 新田太郎八〔孝子〕 810
 日邦〔川流（荒田）院現住〕 755
 二ノ方八十二（または二ノ方八十次）〔春日艦
 楫取〕 826（二方某）
 二宮氏〔森元貞興母〕 820
 丹生猛彦〔誓光寺跡所有者〕 794
 仁礼景範〔米国留学生，兵部省・海軍省出仕〕
 827
 仁礼正膳五 809
 仁和寺宮 → 小松宮

ネ

根占与助 799

ノ

野上佐太郎 803
 乃木希典〔陸軍大将〕 791，817
 野崎宏〔私学校生存者，吉野村温古会代表者〕
 839，D40-157
 野田氏〔山本正誼母〕 829
 野田氏〔山本正誼室〕 830
 野間篤直 849
 野村綱智 849
 野村正右衛門〔郡奉行〕 846（野司農），846
 （野司於。石碑原文は野司農），846
 野村正八 838
 野村盛徳（作左衛門）〔天保年間〕 832
 野村盛徳〔明治時代〕 792
 野村良昌（勘兵衛） 757

ハ

吐田軍七〔薩摩義士〕 775
 萩原勘助〔薩摩義士〕 775
 萩原氏〔木村探元室〕 815
 土師七郎右衛門〔見聞役〕 853
 橋口雲右衛門 754
 橋口兼喬（杏菴） 819
 橋口兼之（与助）〔戊辰戦争従軍〕 819
 橋口兼備（伝蔵）〔書記，寺田屋事件で誅殺〕
 819
 橋口綱賢 849
 橋口綱広 850
 橋口綱国 849
 橋口綱直 849
 橋口綱友 849
 橋口正国（波之平行安）〔刀工，大和の人〕
 790（正口）
 橋口善〔副史〕 834
 橋口奎左衛門〔船奉行〕 852，853
 橋口璉（国器）〔山本正誼門人〕 830（2）
 羽島直次郎 833
 橋元正明〔海軍中将〕 817
 長谷場小十郎〔船手書役〕 853
 長谷場秀純 → 中村秀純
 畠中種次〔警視（地方警視）〕 780
 八田知紀（喜左衛門，桃園）〔歌人〕 796，
 797，847（石碑原文は八田知紀），851
 八田知直（善助）〔八田知紀父〕 797
 花園義則〔警察技手〕 780
 花田仲之助〔報徳会創始者〕 773
 華田喜三左衛門〔船頭〕 853
 浜崎太平次〔第十代〕 854
 浜島喜左衛門〔薩摩義士〕 775
 浜島兼章 771
 浜嶋紋右衛門〔薩摩義士〕 775
 浜田五郎〔西南戦没者〕 800
 浜田平右衛門〔技術者，製造係〕 835，853
 早崎親誉 792
 林吉次 792
 林恒二〔警防員〕 779
 林清〔工人〕 758
 林清如（喜左衛門）〔御内用方山奉行所書役〕
 847

林藤司〔団員〕 779

林道経 814

林富栄〔慧照智融父〕 815

早田万右衛門〔郡見廻〕 804

原松ノ助 832

原与吉左衛門 832

原口吉右衛門 806（原口吉左衛門）

原田義夫〔副分団長〕 779

原田五兵衛〔権領年寄事〕 761

巴竜 → 密山巴竜

春田実清 849

春田房矩〔巡查〕 780

伴兼之〔庄内藩士〕 779

伴兼政〔医家〕 C24-132

伴彦四郎〔薩摩琵琶奏者〕 793

半兵衛〔東門〕 754（善吉）

ヒ

東嘉兵衛〔高崎氏（千世）子〕 791

東吉郎右衛門〔高崎氏（千世）夫〕 791

東桜島村 813

肥後七左衛門〔蒸気船製造関係者〕 853（2）

肥後甚八 838

肥後盛輝（平九郎） 832

久永貞昌（竜助）〔戊辰戦争時二番大砲隊隊長〕 818

菱刈氏〔室町中期，大隅菱刈郡領主〕 760

菱刈隆観（空之介，安房）〔家老〕 832（菱川空之介隆親）

菱刈隆道（友之介）〔監作〕 772

日高義村 D14-140

日高茂樹〔戸次鑑繁季父〕 829

尾藤二洲〔昌平坂学問所教授〕 784

日根野要吉郎〔侍従〕 812

日野資枝〔大納言〕 844

平岡平八 832

平坂七兵衛 806

平瀬新右衛門〔平瀬武乗父〕 827

平瀬武彦 827

平瀬武乗（勘兵衛）〔仙道修行〕 827

平瀬武明（治右衛門，一鷗）〔茶道〕 817

平瀬平 827

平田新五左衛門〔西南戦争時薩軍半隊長〕 805

平田鞆負（正輔）〔家老〕 774（4），775（2），786（3），D2-135

平田盛一〔警防員〕 779

平田宗高〔戊辰戦争時東山道軍所属〕 818

平田宗乗（大監物）〔水野流居合，剣術〕 817

平田篤胤〔国学者，秋田の人〕 796，827

平田平右衛門〔掛郡奉行〕 804

平田猛〔吉野村温古会代表者〕 756，D40-157

平田奎 792（平田透）

平田与次郎〔与次郎ヶ浜埋築，塩業〕 801（3）

平野国臣（次郎）〔福岡藩脱藩，尊攘派志士，歌人〕 823

平野林左衛門〔製作掛〕 846

平山東岳〔画家〕 828

平山武次 792

平山牧右衛門〔薩摩義士〕 775

広瀬新助〔書役〕 846

樋渡牛賢 771

フ

深見勘助〔薩摩義士〕 775

深見三四郎〔薩摩義士〕 775

深見長八〔薩摩義士〕 775

深見六左衛門〔薩摩義士〕 775

福崎季義 792

福崎兼清 849

福崎助八〔用人，側役〕 835，852，853

福崎小竹 792

福崎仲左衛門〔船大工頭〕 853

福迫金助 799

福迫次郎 799

福島巖 792

福島八四郎 792（福島八四郎）

福田義勇〔工事監督〕 792（福田義男）

福留伊太郎〔常盤町貯蓄会員〕 797

福留兼三 793

福留貞良 772

福留□□□□〔常盤町貯蓄会員〕 797

福永金五郎 799

福永豊吉〔寺山水道設計監督委員〕 839，839（福永軍吉。839 頁の水道碑の一文が混入したもの）

福永弥右衛門 799
 福元三次郎〔西南戦没者〕 800
 福元壮八〔警防員〕 779
 福本誠〔戸次鑑繁従弟〕 829
 福山権太郎〔石工〕 834
 福山伝助〔石工〕 834
 藤井彦八〔薩摩義士〕 775
 藤井次郎八〔郡元神社氏子総代〕 805
 藤井従橘〔備中の人〕 828
 藤井親賢（綴喜） 832（藤井綾喜親賢）
 藤崎伊右衛門〔薩摩義士〕 775
 藤崎孫右衛門 756, 843
 藤崎良助〔巡查部長〕 780
 藤田市助 → 吉野市助
 藤田岩男〔部長〕 779
 藤田休右衛門 838
 藤田金四郎 838
 藤田権四郎 838（藤田林四郎）
 藤田次右衛門〔牧司〕 846
 藤田種富（四郎兵衛）〔吉野山見廻〕 847
 藤田種良（六右衛門） 841
 藤田重男〔分団長〕 779
 藤田甚右衛門〔士族〕 839（藤田甚右衛門），
 839
 藤田正八 838
 藤田長五郎 838（中島長兵衛）
 藤田伝次郎〔私学校生存者〕 839（藤田伝四郎）
 藤武喜右衛門 806（徳武喜右衛門）
 伏見宮（博恭王） 854
 淵村幸陽〔吏人〕 848
 淵村利直 799
 淵脇源助 831
 文教〔福昌寺塔頭実相軒〕 757
 文之玄昌（南浦，湯佐氏）〔大竜寺開基〕
 769, 788, C24-132

へ

平氏〔平安末期〕 776
 戸次鑑繁（彦之助）〔福岡藩士〕 829
 別府晋介（景長）〔西南戦争時薩軍〕 784
 徧詢智周（戸田氏）〔南泉院開基〕 761, 814
 徧詢智周母 761
 辺見十郎太〔西南戦争時薩軍〕 784

ホ

方濬益〔清代金石学者，画家〕 C36-134
 抱巖〔心岳寺開基〕 830（抱巖）
 北条泰家 816（2）
 ホーム（Edward Holme）〔紡績所司長，イギリス人〕 853
 外薮市右衛門 837（外園新右衛門）
 星山恭彦 763
 細川潤次郎〔枢密顧問官〕 784
 細川千巖〔東本願寺権大講義，鹿児島布教主任〕 789（3）
 細川幽斎（藤孝）〔戦国時代，武将，歌人〕
 840
 堀金清 792
 堀四郎兵衛〔庄屋〕 804
 堀丈次郎 792
 堀善右衛門〔石工〕 804
 堀井惣七〔鹿児島県師範学校教諭〕 802
 堀河康隆〔侍従〕 854
 堀添喜藤太 838
 堀之内三四郎〔工事監督〕 755
 本光昌瑞〔心岳寺十一世〕 831
 本郷資久（六郎左衛門尉）〔南北朝時代，島津氏家臣〕 D43-162
 本郷資忠（七左衛門尉）〔南北朝時代，島津氏家臣〕 D43-162
 北郷竜助 792
 本田兼友 849
 本田氏〔岡之原〕 754
 本田親愛 D14-140
 本田親盈（出羽守）〔諏訪神社大宮司〕 761
 本田親賢〔伊地知氏（婦喜）の夫〕 769
 本田親徳〔森元貞謙女の夫，神道家〕 821
 本田甚五兵衛〔薩摩義士〕 775
 本田与市右衛門 808

マ

前田吉左衛門 833（藤田喜左衛門）
 前田氏〔八田知紀母〕 797
 前田新四郎〔地方検者〕 846
 前田正実 849
 前田清廉 783

前田宗次郎〔寺山水道設計監督委員〕 839
 前田伯文 822
 前田兵右衛門〔薩摩義士〕 775（前田平右衛門）
 前田利右衛門〔蕃薯栽培〕 838
 前谷惟純（無白） 832（前谷無自惟純）
 前原時盛〔警防員〕 779
 前道静美〔巡查部長（巡查）〕 780
 牧雄吉〔寺山水道発企者〕 839
 卷木賀右衛門〔年寄〕 761
 牧野伸頤〔大久保利通次男，総理秘書官，内大臣〕 792，812
 牧之瀬侃〔巡查〕 780
 正岡友則 850
 増田温（直治） 791，791（増田濫）
 増田氏〔吉国祐章母〕 850
 町田吉左衛門〔役人〕 806（町田喜左衛門），807（町田吉兵衛。石碑は未見だが町田吉左衛門の可能性が高い）
 町田権兵衛 808
 町田実覃（咲輔） 832
 町田仲右衛門〔機械方（機械師）〕 853
 松井技手〔設計者〕 B37-101
 松井行通〔里正〕 813（松井行道）
 松尾清親 849
 松岡慶介〔工事監督〕 755
 松岡十太夫〔御徒目付〕 845
 松岡政人〔紡績所総裁〕 853（2）
 松方正義〔内大臣〕 760，787，D31-151（2）
 松川敏胤〔陸軍大将〕 857
 松木弘安（寺島宗則）〔洋学者，蒸気船製造関係者〕 836，853
 松崎仲右衛門〔薩摩義士〕 775
 松下市右衛門〔薩摩義士〕 775
 松下市右衛門〔薩摩義士〕 775
 松下実清 849
 松下新七〔薩摩義士〕 775
 松下仁助〔薩摩義士〕 775
 松下直近 850
 松下伝太郎 807
 松田重利 849
 松平慶永〔福井藩主〕 855（4）
 松平氏（米姫，常照院）〔松平信平女，島津綱貴室〕 798

松平斉清〔福岡藩主〕 764
 松葉甚七〔警防員〕 779
 松原親友 849
 松村景文〔画家，京都の人〕 828
 松村氏豊 832
 松元金徳〔巡查部長〕 780
 松元長次郎〔西南戦没者〕 800
 松元道俊〔郡元神社氏子総代〕 805
 松元武雄〔中属〕 848，849
 松山純弘〔巡查〕 780
 万里小路正房〔大納言〕 815
 万里小路博房〔宮内大輔〕 856（2）
 真鍋辰二〔警防員〕 779
 丸田氏房（若狭守）〔刀工，濃州関の人〕 790（2）
 丸田正房（伊豆守）〔刀工〕 790（3）
 丸山子賢〔長野県士族〕 838
 円山応挙〔画家，丹波の人〕 828
 マンロー（Neil Gordon Munro）〔考古学者，イギリス人〕 840

ミ

三浦氏〔吉国祐章室〕 850
 三雲定斑（九兵衛） 841
 三島太郎〔副分団長〕 779
 三嶋彦左衛門〔庄屋〕 811（三島彦左衛門）
 水之浦喜次郎〔寺山水道関係者（発企者）〕 839（鷲津喜次郎）
 水原藤太郎〔鹿兒府下町〕 833
 水元成美〔議官〕 850
 味園重太郎〔警防員〕 779
 美玉親賢〔美玉親輔父〕 C31-133
 美玉親輔（三平） C31-133
 満尾貞安 849
 満尾貞明 849
 箕作阮甫〔蒸気船製造関係者〕 853
 密山巴竜 754（密山己竜）
 湊川愛次郎 793
 湊川重紀 792
 湊川重休 793
 南万吉〔巡查〕 780
 南牟礼栄輝〔巡查〕 780（南牟礼栄耀）
 源満仲（多田満仲）〔平安中期，武将〕 842
 源頼朝 854（2）

三原経甫（八太郎） 832（三原八太郎經由）
 三原経礼（藤五郎）〔用人，軍役奉行〕 835
 （三原藤五郎経丸），852，853
 三原種正 792
 三原辰次〔陸軍中将〕 788
 三原甚五左衛門〔紡績所次長〕 853，854
 （2）
 宮内安容 792
 宮内勝海 792
 宮崎伝熊〔巡查部長〕 780
 宮里正静〔紡績所所長〕 854
 宮下希賢（主左衛門，士伯）〔御記録方見習助
 教勤〕 830
 宮下文蟻〔書記，画家〕 828
 宮田清福〔入佐兼友従弟〕 825
 宮之原速公 D14-140
 宮原氏〔折田兼至室〕 C8-131
 宮原秀雄〔団員〕 779
 宮原正近（清右衛門）〔宮原正清子，刀工〕
 817
 宮原正清（主水正）〔刀工〕 790（4），829
 宮元栄治〔西南戦没者〕 800
 宮元休八〔寺山水道設計監督委員〕 839
 宮元仁太郎〔寺山水道関係者〕 839（宮元仁
 助。839 頁の水道碑の一文が混入したもの）
 宮本氏〔森元貞謙室〕 821
 妙立 → 慈山妙立
 明憲宗（朱見深）〔明代皇帝〕 809

ム

向井源左衛門 833
 向井四右衛門〔寺山水道設計監督委員〕 839
 向井友章（滄浪） 844
 無参 → 円了無参
 村岡実正〔巡查部長〕 780
 村田経岡（貞助） 841
 村田経陶（藤之助）〔表御小姓〕 839
 村田経伯（助右衛門） 841
 村田経馮（長左衛門） 841
 村田十熊 792（村田十蔵）
 村田新八〔西南戦争時薩軍〕 784
 村田藤兵衛〔庄屋〕 846
 村野実晨（伝之丞） 832（村野伝之丞実辰）
 村橋久峻〔島津久富義父〕 824

村橋氏〔村橋久峻女，島津久福室〕 824
 村山彦助 757

メ

明治天皇 778（聖上），785（天皇），789（今
 上，聖天子），792，796，827（天子），829
 （今上帝），848（皇上），854，854（天皇），
 856

モ

毛利市兵衛 792
 毛利敬親〔長州藩主〕 856
 茂木源助〔薩摩義士〕 775
 餅田宗伸 849
 餅田宗道 849
 餅田武兼 849
 餅原平二〔海軍中将〕 817
 本居宣長〔国学者，伊勢の人〕 796，827
 （2）
 元吉秀三郎〔鹿児島新聞主筆〕 783
 初木稲右衛門〔薩摩義士〕 775
 桃園天皇 763
 盛昌介〔巡查部長〕 780
 森今喜〔団員〕 779
 森権四郎〔薩摩義士〕 775
 森三千也〔団員〕 779
 森重仁〔部長〕 779
 森哲夫〔団員〕 779
 森徹〔団員〕 779
 森八郎 832
 森有恕〔横山安武・森有礼父〕 767，848
 森有礼〔文部大臣〕 767
 森林兵衛〔見聞役〕 852
 森岡昌純〔寺田屋事件鎮撫使，貴族院議員〕
 817
 森田清左衛門 806
 森田仲右衛門〔船手下目付〕 853
 森永勘兵衛 832
 森永孝左衛門〔年行司〕 761
 森永善次郎 832
 森永為五郎 832
 森永直五郎 833
 森永八十次郎 832

森元高見（山口貞固）〔森元貞謙継嗣〕 822
 (2)
 森元高伯（和田貞之）〔森元貂継嗣〕 822 (3)
 森元三蔵〔森元貂三男〕 822
 森元氏〔森元貞謙女，本田親徳室〕 821 (長)
 森元氏（れん，蓮子，有村蓮寿尼）〔森元貞謙
 女，有村兼善室，歌人〕 821 (次)
 森元氏〔森元貞興長女，永山盛喜室〕 820
 (女)，822 (女)
 森元氏〔森元貂長女，和田良恵室〕 822 (長)
 森元氏〔森元貂次女，有村兼高室〕 822 (次)
 森元氏〔森元貂四女，山口貞固室〕 822 (己
 女)，822 (次)
 森元清兵衛 806
 森元宗次郎〔森元貂次男〕 822
 森元貞興（太保，高見）〔直医〕 820，821
 (4)，822
 森元貞興妾 820
 森元貞俛（または森元俛）〔森元貞興子〕
 820，822
 森元貞謙（見性，頑牛，元蘭，高見，直心斎見
 性自徹居士）〔森元貞興子，侍医〕 820
 (3)，821 (5)，822 (2)
 森元貞行〔森元貞興父〕 820
 森元貞弘〔森元貂長男，森元貞謙継嗣〕
 821，822
 森元貞昆〔森元貞興兄〕 820
 森元貞純 821
 森元貞惇〔森元貂四男〕 822
 森元貂（克明，宗節，朽匏（朽匏），蕙圃（蕙圃））
 〔森元貞興子，医家〕 820，821 (3)，822
 森山永賀（新蔵）〔豪商〕 820
 森山永治（新五左衛門）〔森山永賀子，寺田屋
 事件で重傷〕 820
 森山清兵衛〔鹿児島府下町〕 833（森山新兵衛）
 文珠原八 832

ヤ

矢上高純（左衛門五郎）〔南北朝時代，矢上城
 主〕 756，D43-162 (3)
 八木玄悦（称平）〔洋学者〕 836
 八木才次郎〔石工主掌〕 772
 八木七郎左衛門〔薩摩義士〕 775
 薬師次郎 832

薬師善之助 832
 薬丸兼義（半左衛門）〔薬丸兼陳子孫，代官
 役，野太刀自顕流〕 820
 薬丸兼則 849
 薬丸兼陳（刑部左衛門，如水）〔野太刀自顕流
 祖〕 817，819
 薬丸兼福（刑部左衛門）〔薬丸兼陳子，兵具奉
 行，野太刀自顕流〕 819（石碑原文は薬丸
 形部左衛門）
 薬丸兼補（猪兵衛） 832
 安井息軒〔昌平坂学問所教授〕 800
 柳原前光〔右少弁〕 856 (2)
 矢野盛正 D14-140
 矢野篤孝 850
 山内広兼 849
 山香干城〔東本願寺鹿児島布教主任〕 789
 (山香干城) (3)
 山県有朋〔西南戦争時陸軍参軍〕 768
 山口源助〔地方検者〕 804
 山口氏〔折田兼至室〕 C8-131
 山口氏〔山口直秀母〕 824
 山口治易〔儒者〕 766
 山口清作〔薩摩義士〕 775
 山口操一〔吉野水道組合組合長〕 839（山口
 孫一）(2)，840（山口孫一。石碑原文には存
 在しない）
 山口直実〔田辺延寿三男（山口直秀）を継嗣に迎
 える〕 824
 山口直秀（鉄之助）〔田辺延寿三男，山口直実
 継嗣，戊辰戦争時第十隊長〕 824
 山口定枚（隆雪） 832
 山口貞固 → 森元高見
 山口武二〔海軍主計大佐〕 794
 山口平〔巡查〕 780
 山崎晋〔巡查〕 780
 山崎清左衛門 833
 山下金太郎 832
 山下兼備 771
 山下源太郎〔東桜島村収入役〕 812 (2)，
 813
 山下国安 849
 山下実〔団員〕 779
 山下実緞（喜三次）〔御普請方掛地方検者〕
 833
 山下実近 771

山下助次郎 832
 山下卓馬〔鹿児島県会議長〕 771
 山下登〔警防員〕 779
 山下博之〔巡査部長(巡査)〕 780
 山下文夫〔団員〕 779
 山下松左衛門〔船大工〕 853
 山下松次郎 832
 山下勇吉〔日露出征者〕 799 (山下栄吉)
 山田君豹(月洲)〔記録奉行〕 788, 830 (月洲)
 山田広受〔山田有裕子〕 769, 824
 山田氏〔伊集院俊矩母〕 766
 山田氏〔中別府町, 石工〕 838
 山田次左衛門 838
 山田準〔第七高等学校造士館教授〕 804, 851, C9-131
 山田翠亭(亨)〔篆刻家, 愛媛の人〕 818
 山田有竹〔吏人〕 848
 山田有裕〔造士館教授, 近侍掌務兼侍読〕 824
 山田林蔵〔石工〕 838
 山名時雍〔造士館助教, 入佐兼友外従兄〕 825
 山中弥右衛門 754
 山之内重虎(次郎) 824
 山野田一輔〔西南戦争時薩軍〕 803
 山元八兵衛〔薩摩義士〕 775
 山元武二〔私学校生存者〕 839
 山本安亮 849
 山本伊兵衛〔山本正誼祖父〕 829
 山本元善(伯春)〔山本正誼次男, 造士館都講〕 830 (2)
 山本権兵衛〔内閣総理大臣〕 817
 山本氏(志賀)〔山本正誼長女, 富山半蔵室〕 830
 山本実定 849
 山本親純 792
 山本親善(孫兵衛)〔御普請方掛郡奉行勤〕 833
 山本正誼(子和, 伝蔵, 秋水, 小酔翁)〔造士館教授〕 761, 770, 788, 795 (4), 829
 山本善蔵〔山本正誼三男〕 830
 山本達雄 C9-131
 山本伝右衛門〔山本正誼父〕 829
 山本府実〔山本正誼四男〕 830

山本熊八〔山本正誼長男〕 830
 山脇道朔〔医家〕 820 (2)

二

惟正〔東山建仁寺〕 809
 唯方〔心岳寺八世〕 831
 祐中(大乘坊, 川崎氏)〔砲術家〕 822
 弓削貞義 792
 湯地氏(静子)〔乃木希典室〕 791, 817
 湯地定監〔海軍中将〕 791
 湯地定基〔北海道庁理事官〕 791
 湯地定之〔湯地定監父〕 791
 湯地定康〔海軍大尉〕 791

三

揚雄〔漢代文人〕 C36-134 (楊雄)
 与倉直次郎〔調合方検者〕 846
 横山安武(正太郎)〔森有恕四男, 横山安容継嗣, 1870年死諫〕 848
 横山安容〔造士館助教〕 848
 横山勤〔副分団長〕 779
 横山治左衛門〔薩摩義士〕 775
 吉井幸蔵〔吉井友実長男, 帝国水産会長〕 792
 吉井甚太郎 833
 吉井万次郎 833
 吉井友実〔精忠組〕 794
 吉川喜左衛門 833
 吉国兼三〔吉国祐章三男, 法学士〕 850
 吉国彦二〔吉国祐章次男, 工学士〕 850
 吉国氏(宣子)〔吉国祐章長女, 東京実践女学校教師〕 850 (2)
 吉国氏(治子)〔吉国祐章妹〕 850
 吉国藤吉〔吉国祐章長男, 文学士〕 850
 吉国半五〔吉国祐章五男, 理学士〕 850
 吉国祐吉〔吉国祐章父, 造士館訓導〕 850
 吉国祐四〔吉国祐章四男, 三浦氏継嗣〕 850
 吉国祐章(兵七, 滄海)〔造士館授読, 錦江義塾創立〕 850
 吉田孝之進 838
 吉田清逸(息長) 818
 吉田清英〔埼玉県令〕 792
 吉田清香 793

吉田清正（若狭守）〔家老〕 D44-164
吉田清盛（息長，大藏）〔織豊時代，島津氏家臣〕 817
吉田清八 838
吉田清福（彦兵衛）〔吉野山見廻〕 847
吉田鉄太郎 793
吉谷貞行 849
吉利六郎兵衛〔庄屋〕 807（2）
吉野市助（藤田市助） D42-160
吉野水道組合 836
吉原阿〔豊前宇佐神宮宣教館少教正〕 851
吉見惣太郎 838
四枝勇之助〔吉野水道組合組合長〕 836（2）
つ目の四枝氏は石碑原文では同氏（3），
839，840
四元喜右衛門 832
四元恒高 849
四元秀雄〔団員〕 779
四元満次〔団員〕 779
四元茂〔団員〕 779
四本堯則（陽之助） 832
四本正蔵 808（四本正兵衛）
四本平兵衛〔薩摩義士〕 775
米倉熊吉〔寺山水道設計監督委員〕 839
与平次〔吉野村在役〕 846

ラ

頼春水〔頼山陽父，広島藩儒者〕 788

リ

李杲（東垣）〔金代医家〕 820（東垣）
陸機〔晋代詩人〕 761
劉向〔前漢文人〕 C36-134
竜兵衛〔福善門〕 754
良牛〔心岳寺九世〕 831
領家安行 849
領家安友 849
領家良堅 850
亮敵〔南泉院第二世〕 762，814
亮潤〔探題前大僧正〕 762（亮潤）（2）
林春溥〔清代翰林院編修〕 766（林春溥）
林照〔心岳寺六世〕 831

レ

黎庶昌〔清代駐日公使〕 C36-134
靈空光謙〔比叡山西塔星光院主〕 761（謙），
762（2）
靈文公 → 島津久治
蓮亭院 → 丹波氏（享姫）

ロ

六右衛門〔名主〕 807

ワ

若松藤男〔団員〕 779
和田右衛門 754
和田貞右衛門 806
和田善助〔薩摩義士〕 775
和田善蔵 806
和田貞之 → 森元高伯
和田直次郎 832
和田八之進〔横目掛〕 845
和田友吉〔塩屋町〕 803（2）
和田良恵〔森元貂長女の夫〕 822
渡辺氏〔赤塚真成母〕 826
渡辺氏〔赤塚真成室〕 826
渡辺盛衛〔維新史料編纂官〕 806
渡辺千秋〔鹿児島県知事，宮内大臣〕 773，
777，778（鹿児島県令），796，797

人物未詳

茱迫仲左衛門 754
□元仲右衛門〔地方検者〕 804（□光□右衛門）
見叟妙辰大姉 819
呉雲子 820
君氏 820
飛来山房 829
□野助太郎 832
□井十蔵 837（十蔵）
□松文蔵 838（文蔵）
実方朝臣某卿 841
二階堂氏 B19-129